

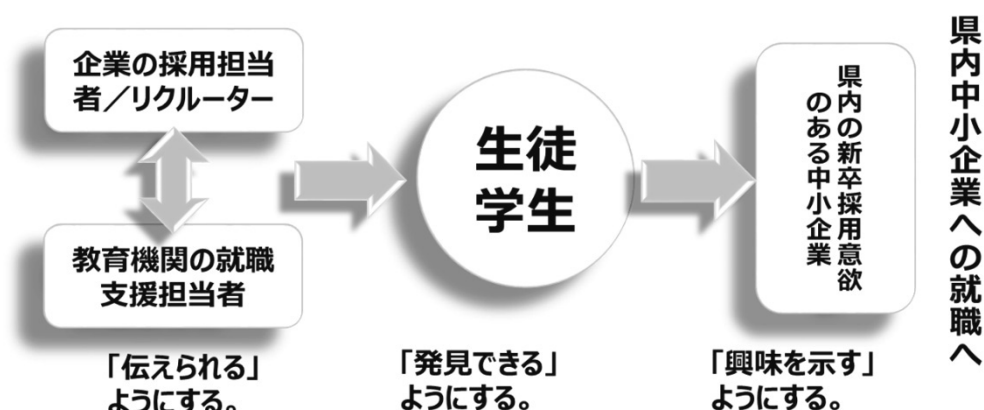
1.プロジェクトについて

事業目的

県内中小企業が新卒を中心とした人材を採用すること（地元就職の促進）が目的であるが、それに向けた3つの目的を持ち、当事業を展開した。

- ① 千葉県内の中小企業が、自社の魅力を、「伝えられる」ようにする。
- ② 千葉県内の中小企業の魅力を、生徒・学生が「発見できる」ようにする。
- ③ 「伝えられる魅力」を伝えることで、生徒・学生が「興味を示す」ようにする。

この事業の目的に、生徒・学生との直接のマッチングは組み込んでいない。なぜなら、中小企業への直接マッチングのサービスは、既に他公共機関でも行い、サービスが乱立し、競合してしまうためである。また当事業では、県内中小企業の採用力を向上させ、継続的な採用成功を持続させるためには、県内中小企業に採用成功への課題があるとし、上記の3つを目的とした。



特徴①

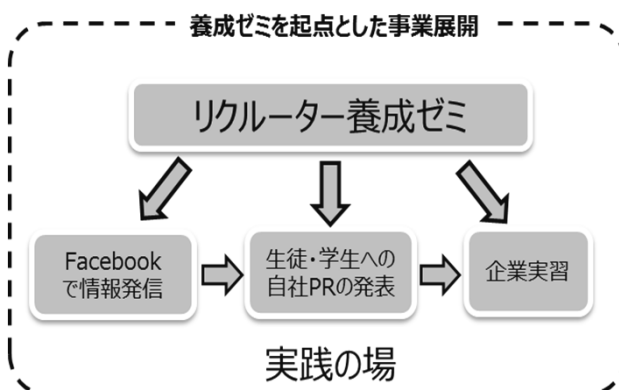
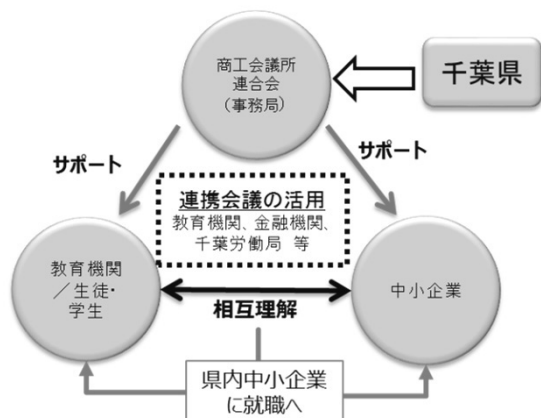
千葉県商工会議所連合会と千葉県商工会連合会の共催のもと、千葉全県を対象に中小企業と教育機関をサポートし、相互の理解を深め、県内中小企業への就職を促進する事業であること。

※商工会議所、商工会の会員、非会員とも対象で、且つ、中小企業基本法に規定のある中小企業者が対象。

特徴②

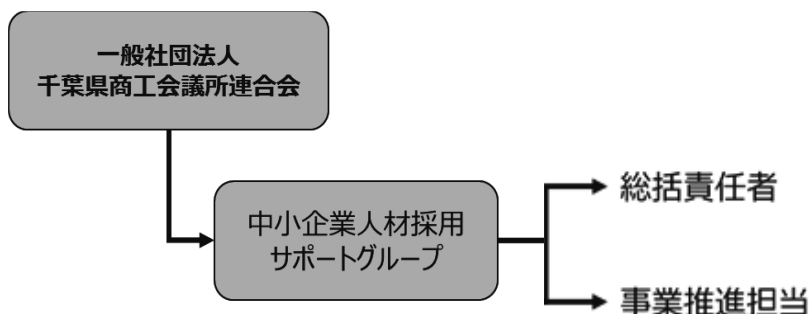
「リクルーター養成ゼミ」の開講が最大の特徴で、このゼミを受講する県内中小企業の採用担当者が、導き出された自社の魅力を情報発信し、自社PRの発表を行い、企業実習の受け入れを行う、という一連の流れになっている。

※単なる研修やセミナーの参加だけではなく、実践の場が伴い、「魅力が伝わったかどうか」の検証が可能であること。

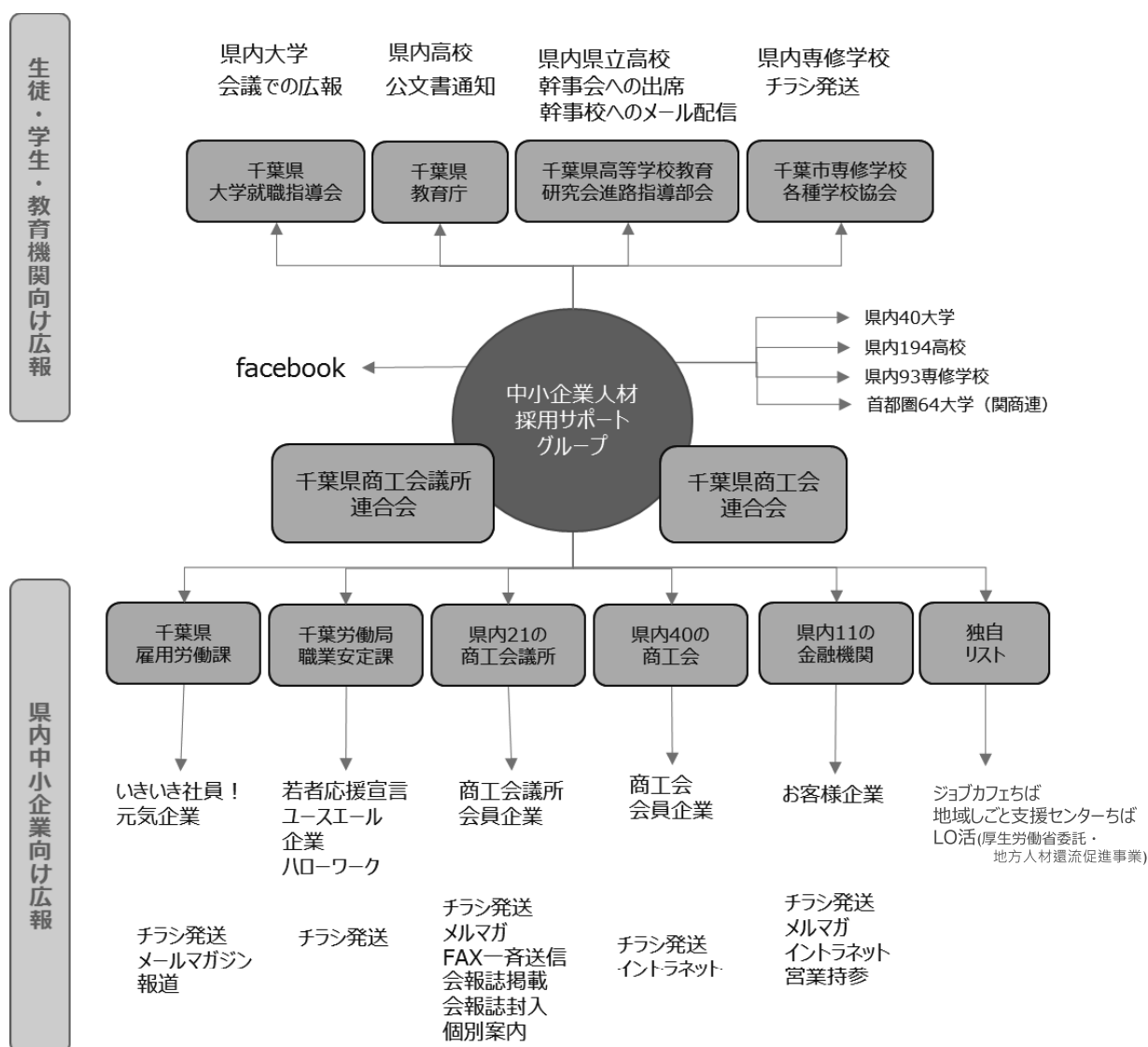


実施体制

一般社団法人 千葉県商工会議所連合会内に、中小企業人材採用サポートグループを設置。



事業広報を促進するため、以下の協力体制を構築し、各事業の広報を実施した。



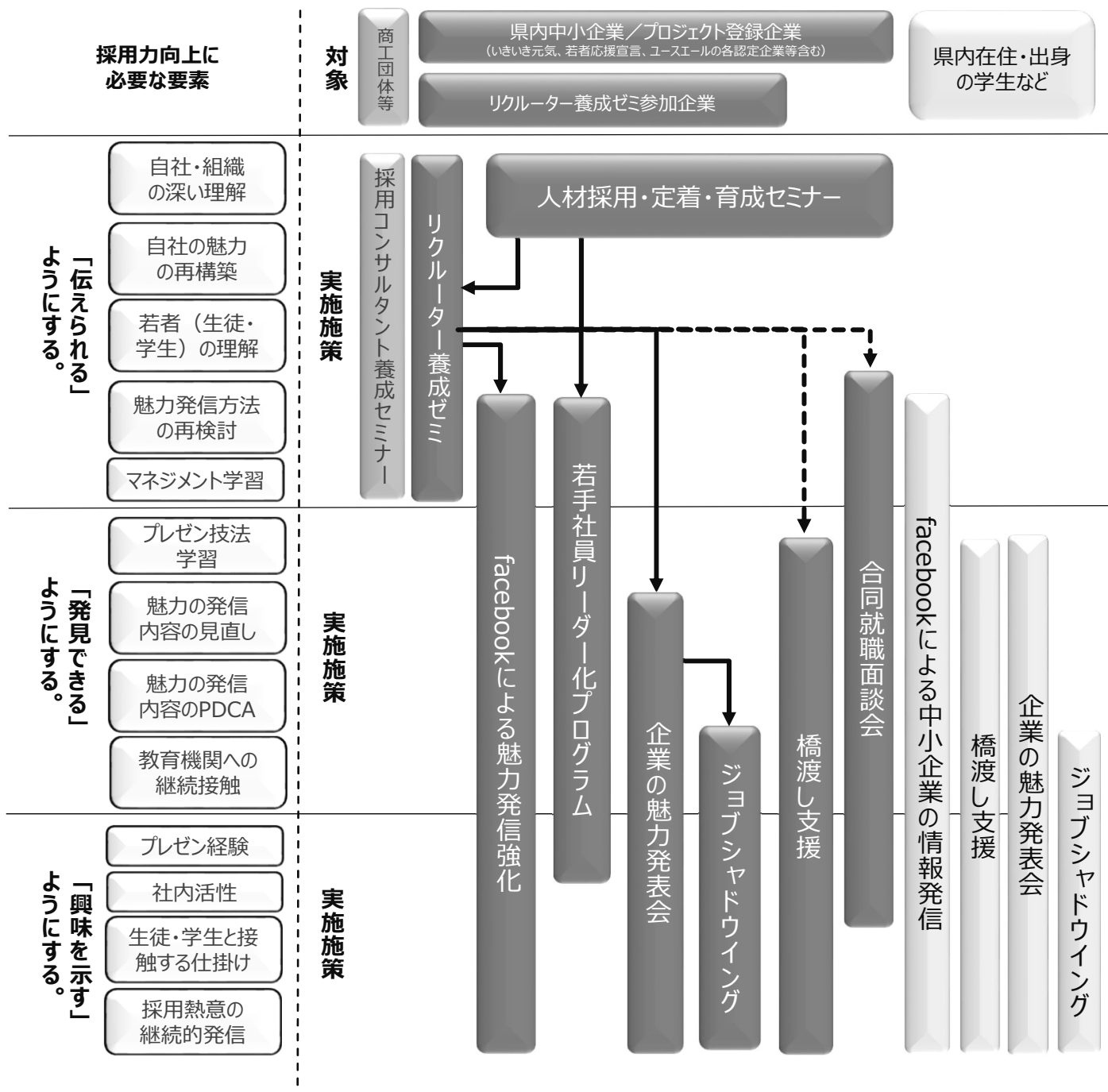
プロジェクト登録時の企業コメント

●新卒採用でお困りの点や、当プロジェクトに期待することをお書きください。

・採用がうまくいかない
・千葉県の本更津事業所において、求人活動に苦勞しており、様々な情報収集してよい方向へ成功させたいため。
・採用募集に人が集まらない、若手が定着しづらい
・若年者の定着
・とにかく人材が集まらないので、出会えるきっかけを頂けると助かります。
・新卒採用の求人をして応募者が集まらない
・従業員の定着化のための施策について参考にしたい。
・専門職の人材確保及び人材育成
・福祉現場の人材不足
・特定の技術職を募集しているが、応募がない。
・たくさんの学生のみなさんにお会いし話ができることを期待します。
・人材不足の為の求人サポートを
・新卒採用スキームと現在の学生が企業に求めるものとのマッチング精度の向上
・提案力・主体性の習得
・人材不足。グランドハンドリングの知名度が低いため、その業務の周知
・当社の採用は、学校や職安に採用案内を提示して行っていますが、ここ何年も採用に至っていません。社内でも採用のknow-howがなく、今回勉強をさせて頂ければと考えています。
・ハローワークで中途採用しておりましたので新卒採用方法が解りません。ご指導お願いいたします。
・1dayの定着・育成セミナーに現場役職を参加させたいと思います。新卒採用等の直接の人材採用には現場スタッフは直接かわりはありませんが、入職後の定着は現場スタッフにかかっているのではないかと考えています。
・法人として約20年の間中途採用しか経験がないため、採用ルール、新卒者向けのアプローチや育成方法等について学ばせていただきたいです。
・介護の人材不足は当社に限ったことではないかと思いますが、その対策について知りたいと思います。
・離職率の高い職場なのでなるべく定着して就業出来るような環境作り！
・高校生を対象に求人活動をしたいが、未経験のため求人方法がよくわからない。
・募集しても応募がない
・目標採用数に必要な求人数がない。
・人材育成
・採用力の向上(新卒人材確保)
・福祉人材確保、定着
・教育機関との接点、イベントの拡充
・社員に対する教育セミナーの開催
・新工場建設に伴う労働者の採用育成の検討
・なかなか人材が集まらない。採用に大変苦勞しています。
・合同企業説明会などに参加したい
・今回の合同就職面談会(高等学校向け)に申し込みをさせていただきたく思っておりますが、当社は従業員数が12名の小さな会社です。進路指導担当者様にお話を聞いていただけるか心配です。面談会参加も初めてなのでPR方法、手順など可能でしたらご指導よろしくお願いいたします。
・今後色々相談する事があると存じますが、何卒宜しくお願い致します。
・今からでも登録は間に合いますか。募集はしてるものの、応募がなく困っています。
・介護職員等の補充採用が行えない状況であり、過重労働となる部署があります。
・母集団の形成の難しさと内定辞退率の増加を感じております。大学のキャリアセンターの方との面談会や学生の紹介などございましたらご案内をお願いしたいと思っております。
・応募が少ない点
・専門学校から学生さんを採用したいのですが、生徒の減少、ディーラーさんへの就職が多くなかなか町工場まで人材が回らない。

・新卒採用における定着とスキルをもつ人材作りが課題
・新卒者が、毎年確保できるようにするためにどのようにしたらよいか
・応募数を増やすこと
・弊所だけでなく、顧問先様(中小企業)にも役立てたい
・合同就職面談会をもう少し早い時期に開催してほしい。
・募集しても応募が少ない
・自社で求める人材がしっかり採用できるようになりたいです。
・地域に密着した採用を検討しております。よろしく願います。
・県内の教育機関ご担当者様と繋いでいただき、新卒採用のご支援を賜りたいです
・企業説明会の回数を増やして頂きたい。
・若い人材の採用に繋げたい。
・現状、新卒採用を行っていないため、採用の足掛かりとして期待しています。採用のノウハウ、ポイントなども学べたらと考えています。
・売り手市場で学生の応募数が限られている上に、選考辞退や内定辞退も多く人員の確保が難しい。また、専任のリクルーターがいるわけではないので、本業と採用活動のバランスや人的投資の兼ね合いが難しい。
・新入社員の定着率
・地元中小企業だけの会社説明会実施
・新卒採用したいが、会社の方針で非正規パートからスタートなので応募がこない。
・県外企業ですが、成田市に近く千葉からの社員採用も行っておりますので宜しくお願い致します。
・ここ数年、求人を出しても応募がさっぱり来ません。学生さんとの接点を取り持っていたいだいたり、会社のPRができればと思います。
・知名度の低い製造業は会社を知って頂く事から始めなければならず、そこにたどり着く前に大企業へ人材が動いてしまう。
・新卒採用で集客がうまくいかず困っています。
・新卒者の受け入れ体制をマニュアル化したい。
・学生が集まらない。
・学校とのコンタクト
・専門学校生以上に対する募集
・新卒採用のいい機会となるよう期待しております。
・学生との接点づくりの機会が少なく、どうPRしていいかわからず困っている。
・有望な人材の適正な採用
・新卒採用はなかなか難しい。中小でどちらかと言えば建設関連のイメージがあるので、合同企業説明会に参加しても人が来ない。
・今まで新卒採用を考えながらも手段がわからずできずにいました。御プロジェクトが新卒雇用の良いきっかけになればと思います。フレッシュな人材を確保する事を期待いたします。
・新卒(高校、大学)採用予定に繋がればと思います。
・大学・高校等の就職担当者の方との合同就職面談会等は、採用活動の中で貴重な機会になっています。今年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。
・優秀な人材の採用、育成に役立てたいです。
・多くの学校様と出会い、より良い人材を確保できるように
・千葉県内からの新卒採用者が少ないので困っています
・認可保育園においては、保育士資格等を取得(見込み)していることが必須条件となりますので、そういった特定の資格が必要な求人に対するバックアップをお願いしたい。
・学生とダイレクトにつながる事ができる機会を作っていたきたい
・人材の確保
・福祉業界に就職希望する方が少ない。
・福祉サービスを志す学生の減少、人材不足。
・採用の知識やスキルを身につけ、自社外の人間関係を構築したい
・夜勤がある仕事のため、採用に苦戦しています。
・介護や幼児保育分野への進出を検討中で今後その分野での専門知識を持った経験者を採用したいと思っております。
・教育機関就職課との関係構築
・会社側の改善点の明確化、採用力の向上

実施内容全体図



プロジェクト登録企業に対する情報発信

◆メーリングリストを利用した採用力向上サポートプロジェクト通信の配信 対象アドレス数：421

◆配信時期と主な内容

配信月	配信数	主な内容
4月	1	ワンデーセミナー告知
5月	2	ゼミ告知、合同就職面談会告知
6月	2	合同就職面談会受付状況
7月	1	プロジェクトの進捗状況
8月	1	合同就職面談会、アンケート結果共有
9月	2	留学生/障害者セミナー告知
10月	3	働き方改革セミナー告知、オープンゼミ告知等
11月	2	合同就職面談会、アンケート結果共有等
12月	1	千高進部会案内
1月	3	高度外国人材、千高進案内等
2月	4	橋渡し関連
3月	1	地域活性事業案内

従来使用しているメールシステムよりBCC送信していた各種告知、連携先のイベントなどの周知を今年度よりWebのメーリングリストを活用することで、タイムリーに平易に情報を提供することが可能となった。実際にこのメーリングリストから告知した他の連携先セミナーへの参加も確認されており、プロジェクト登録企業へ対する情報提供については、一定の効果が出ている。

◆プロジェクト登録企業数 ※平成31年3月7日現在

平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
200社	118社	126社	444社

産学連携について

連携先である千葉県高等学校教育研究会、進路指導部会からのお声かけで、6月に実施された同部会研究会で、進路指導を担当されている先生方に向けて本プロジェクトの告知を資料配布と共に実施。2月には、同部会研究会において、中小企業の魅力発信としてパネルディスカッションを実施した。詳細は下記を参照

◆千葉県高等学校教育研究会進路指導部会（千高進） 研究協議会パネルディスカッション

リクレーター養成ゼミ参加企業から、高校生採用を実施している企業を3社選定し、同部会の中のプログラムのひとつとしてパネルディスカッションを実施した。実際に進路指導にあたる先生方へ、各社企業採用担当者による5分間ずつの事業説明（自社プレゼン）の後に、高卒入社3年目以内の若手社員に登壇してもらいパネルディスカッション形式で進行。ファシリテーターは同部会参加の先生が担当された。パネルディスカッションでは「入社した会社を選んだ理由」「入社前後に不安に感じたこと」「大変だったことや成長できたこと」「早期離職問題について」など若手社員の本音を語ってもらった。当日は千高進、事務局からのお声かけもあり、本プロジェクト登録企業へ部会見学の機会を頂く事が出来た。普段の採用活動業務では知り得ない先生方の活動場面を共有する機会を提供することが出来たのは、プロジェクトの提供する企業へのバックアップ策しても有効であった。

* 日時 平成31年2月4日（月）13:00～16:30

* 会場 千葉経済大学 大学2-101教室（千葉市稲毛区轟町3-59-5）

* スケジュール

13:00 開会

13:20 パネルディスカッション「中小企業を知る」

＜パネラー企業＞ ・社会福祉法人泉寿会

・EMオノエ株式会社

・株式会社トヨタレンタリース千葉

14:45 講演 演題『変わる教育』

講師 日本進路指導協会 理事・調査部長 千葉 吉裕様

16:15 各委員会報告、連絡事項

16:30 閉会

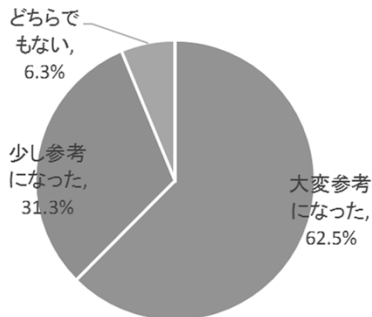
* 参加者

・教育機関	89名
・見学企業	19社（22名）
・登壇企業	3社（11名）



●千葉県高等学校教育研究会進路指導部会参加アンケート結果

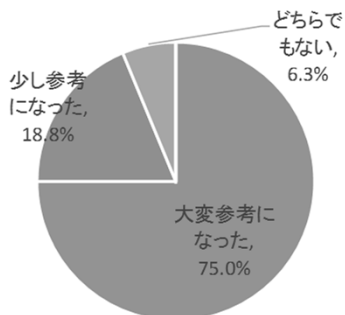
Q1.本日の部会はいかがでしたか？



【コメント】

- ・生徒を送る側の立場がわかりました。
- ・とても勉強になりました。
- ・貴重な話を聞くことができた。
- ・研究協議会に寄せられた質問事項に対する労働局の回答が判りやすい説明で理解しやすかった。
- ・通常であれば参加できない講演、パネルディスカッションに参加させて頂きありがとうございました。若者の意見、歴史から世の中の動きまで、とても内容の濃いご講義でした。

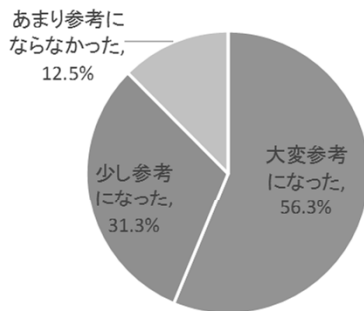
Q2.パネルディスカッション「中小企業を知る」はいかがでしたか？



【コメント】

- ・登壇者側だったため、他の方からのご意見を伺いたいです。
- ・新卒社員の率直な意見を聞くことができました。
- ・スタッフが感じている事、本音が解りました。又、早期離職のホットな話題にもふれて頂き、大変参考になりました。
- ・前向きで元気な姿に感動しました。おつかれさまでした。
- ・他社の若手社員の本音は聞く機会がないため貴重な時間でした。
- ・沢山の求人票から探してもらうではなく、知って頂くきっかけ作りが重要であり、又、入社後の教育や相談相手の存在が、長く働いてもらうためには必要だということを再認識しました。
- ・素直に聞かされて良かったです。(本音が聞ける)
- ・中々本音では話が出来ないと思いますが、参考になる話を聞けました。

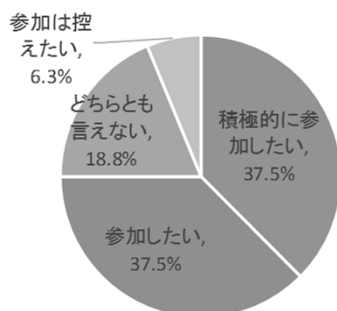
Q3.講演「変わる教育」はいかがでしたか？



【コメント】

- ・今後の職場体験等の検討材料になりました。
- ・企業にとってあまり参考になる話ではなかった為
- ・教育方針について、初めて学ぶことができました。
- ・習慣を習熟していくと、習慣に合わないものを受け入れられなくなるというくだりは企業の人材育成にもあてはまるので、考えさせられました。
- ・今後の進路や学校の教育が解り、大変勉強になりました。
- ・熱意あるプレゼンに感動した。学校と企業の連携については是非進めたい！！
- ・「今の若い人は」でくられる「受け身」「自分の意見がない」などの傾向には、日本の教育が、「同じルールに乗っている」を良しとする歴史がある事が分かった。
- ・先生のお話は本当に分かりやすく、今の教育の問題、今後どうあるべきかが普通科問題など考えさせられる事が多かった。
- ・企業からみると実践向きではない。イノベーションの話をもっと聞きたかったです。
- ・教育を取り巻く環境の変化を時系列での説明があり、興味深い講演でした。

Q4.今回のような教育機関部会の参加について



【コメント】

- ・教育現場の進路指導担当の先生方のお考えが聞ける機会だと思いました。
- ・学校と企業の逆の立場から意見を述べられる良い機会だと思います。
- ・このよう場にご参加させて頂き、光栄です！
- ・絶対参加したい！！学校と企業の連携です。
- ・本日の様な内容であれば(特に講演)是非参加したい。
- ・普段このような機会がないので参考になります。